

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公表番号】特表 2006-520019 (P2006-520019A)
 【公表日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-034
 【出願番号】特願 2006-508834 (P2006-508834)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/122 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/122

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 12 日 (2007.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一連の側方溝により画定されている面を有する好適形状キューブコーナー素子の列を有する再帰反射シートであって、該一連の溝のうちの少なくとも 2 つの溝が、名目上平行超～約 1°の範囲内の量だけ非平行である、再帰反射シート。

【請求項 2】

前記素子が約 0.020 インチ未満の横方向寸法を有する、請求項 1 に記載の再帰反射シート。

【請求項 3】

前記素子が約 0.010 インチ未満の横方向寸法を有する、請求項 1 に記載の再帰反射シート。

【請求項 4】

好適形状キューブコーナー素子を有する物品であって、少なくとも 1 つのキューブが 1 - 2 二面角誤差および 1 - 3 二面角誤差を有し；かつ該二面角誤差が反対に変化している、物品。

【請求項 5】

前記キューブが、1 分～60 分の角度の二面角誤差を有する、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 6】

前記素子が、名目上平行～1°未満非平行の範囲内である二面縁を有する列をなしている、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 7】

前記二面角誤差が反復パターンで変化している、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 8】

3 つの二面角誤差を有する少なくとも 1 つの好適形状キューブコーナー素子を有する物品であって、該二面角誤差が互いに異なっている、物品。

【請求項 9】

前記二面角誤差が 1 分～60 分の角度である、請求項 8 に記載の物品。

【請求項 10】

溝により画定されている面を有する好適形状キューブコーナー微細構造体の列を有する再帰反射シートであって、該列内の隣接している溝が、名目上平行～1°未満非平行の範

囲内であり、少なくとも 2° 異なる夾角を有し、かつ該側方溝の夾角が反復パターンで配置されている、再帰反射シート。

【請求項 1 1】

前記キューブコーナー微細構造体がキューブコーナー素子を有する、請求項 1 0 に記載の再帰反射シート。

【請求項 1 2】

前記素子がそれぞれ第 1 の面を有し、かつ該第 1 の面が主要溝面を画定している、請求項 1 0 に記載の再帰反射シート。

【請求項 1 3】

複数の列を有し、各列が、隣接している列に対して反対向きになっている、請求項 1 0 に記載の再帰反射シート。

【請求項 1 4】

溝により画定されている面を有するキューブコーナー素子の列を有する再帰反射シートであって、該面が共通峰高さで交差し、該列内の隣接している溝が名目上平行 $\sim 1^{\circ}$ 未満非平行の範囲内であり、かつ隣接している側方溝の夾角が少なくとも 2° 異なっている、再帰反射シート。

【請求項 1 5】

前記素子がそれぞれ第 1 の面を有し、かつ該第 1 の面が主要溝面を画定している、請求項 1 4 に記載の再帰反射シート。